③　本時のねらい

○腰がさがったり上がったりしないで手押し車ができるようにさせる。

○器械運動

・A集団（3つの連続）　さか上がり―腕立て前転―振りとびの連続が正しくできる。

・B集団（2つの連続）　腕立て前転―振りとびの連続ができる。

・C集団（1つができる）　さか上がり，腕立て前転がどうにかできる。

○どのようにすればできるか，グループの中でお互いに教え合い励まし合って練習させる。

○用具や運動場所に気をつけて練習させる。

④　教授過程

学習活動・内容	時間	協力分担 T_1	T_2	T_3	指導上の留意点	反応・評価
1　学習のめあてを確かめる	5	1　本時の学習について知らせる (1)　体操をさせる (2)　さか上がり―腕立て前転―振りとびをさせる	←健康観察・学習のとりくみ方を観察し援助する→		・からだの具合いの悪い者を確認し，見学者の指示をする	学習のめあての理解反応　69／17
2　体操をする (1)　人運びをする (2)　人倒しをする (3)　かつぎ合いをする	10	・個別指導をする	2　全体指導をする (1)　能力に応じ行なわせる (2)　ゆっくり大きくさせる (3)　交互に行なわせる	・個別指導をする	・能力に応じて運ぶ距離を加減させる ・方法をじゅうぶん理解して行なわせる ・途中で重くて手を放すことのないように気をつけさせる	
3　さか上がり―腕立て前転―振りとびをする (1)　全体学習をする	25	←用具の準備・点検をする 練習段階の進め方について理解できたか確認する→		3　全体指導をする (1)　さか上がり―腕立て前転―振りとびの要領を説明する	・Aグループ―下位集団 Bグループ―中位集団 Cグループ―上位集団 ・それぞれの目標をよくわからせ，練習段階の進め方を説明する	A…17 B…30 C…24
(2)　能力別グループ学習をする ○各グループの学習のめあてについて話し合う ・グループ別の練習		・Aグループの指導をする さか上がり―腕立て前転をさせる	・Bグループの指導をする 腕立て前転―振りとびをさせる	・Cグループの指導をする さか上がり―腕立て前転―振りとびをする	・できない者には，補助をして種目の感じをとらえさせるようにする。また練習の重点を指示してやる	
・学習カードの段階に応じて自主的に練習 ・グループのめあての反省 (3)　全体学習をする ・新しくできるようになった人の演技の見学		(1)　さか上がりの練習をさせる (2)　ひざを伸ばし上体を起こし，大きな円を描くようにしてまわらせる ←各グループで新しくできるようになった者の演技を見させる→	(1)　腕立て前転の練習をさせる (2)　腕立て前転の終わりから振りとびにはいる練習をさせる	(1)　さか上がり―腕立て前転（連続）の練習をさせる (2)　個々のわざを正確に，連続的に行なわせる	・つまずきについて教え合わせる ・安全にその段階ができるように助言する ・よくできるようになった者は次の段階へ移るように指示する ・新しくできるようになった友だちの演技をみんなで見てやり，できない者の練習のしかたをいっしょに考えさせるようにする	・到達度 A…13／17 B…20／30 C…22／24
		・ひとつひとつの運動が正確におさえられているか ・連続のところがよくできているか ・動きがなめらかにできているか				
4　学習のまとめをする ・本時のまとめ ・ダンス「相馬二へんがえし」の踊り ・用具のあとしまつをする	5	4　全体指導をする ・本時の学習全体について反省させる ・協力して後始末と定位置保管の指示をする ・次時の予告をする	・レコードプレーヤの操作をする	・ダンス指導をする ・レコードに合わせてのびのびと踊らせる 隊形―円陣	・本時の反省から，技能をさらに高める手だてを考えさせ，自由時の練習に発展させる意欲をもたせる ・既習教材なので，整理運動として，のびのび行なわせる	・練習意欲 58／71